

臨床研究のお知らせ

当院では、医療の向上と国民の健康増進を目的として、下記の研究を実施しております。不明な点がございましたら、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

① 試料・情報の利用 目的及び利用方法	研究課題名	当院における皮下乳腺全摘術（SSM）、乳頭乳輪温存皮下乳腺全摘術（NSM）の手術手技と治療成績の検討
	実施予定期間	倫理審査承認後（2021年2月8日） ～2022年12月31日
	研究の概要	胸筋温存乳房切除術の縮小手術である皮下乳腺全摘術（SSM）、乳頭乳輪温存皮下乳腺全摘術（NSM）は整容性に優れますが、腫瘍学的安全性に留意して施行されるべき術式です。 当院では、乳房切除術が必要で乳房再建を希望する症例を主な対象とし、2004年からSSM、NSMを新たな選択肢として導入しました。今回、腫瘍学的安全性の観点からSSM、NSMの手術手技と患者さんの予後を調査し、これらの術式の安全性についての評価を後ろ向きに行います。
	対象となる方	当院で2004年1月から2021年12月までにSSMあるいはNSMを受けられた患者さんが対象です。
	研究実施科	消化器・乳腺外科
② 利用、又は提供する 試料・情報	年齢、性別、術式、既往歴、合併症、病理検査データ、予後（無再発生存率、全生存率、局所再発率）、併用療法など、既存の診療情報を利用します。結果の公表の際は、個人が特定されないように個人情報を保護します。	
③ 利用する者の範囲	当院消化器・乳腺外科の研究参加医師のみが情報を取り扱います。	
④ 試料・情報の管理責任を有する者	研究責任者： 消化器・乳腺外科 部長 尾崎慎治	
⑤ 試料・情報の提供停止について	本研究の対象患者に該当する可能性のある患者さんで、自身の情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は下記にお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。	

	ただし、お申し出をされた時点で、データ分析等を終えている場合は、データを利用させていただきますのでご了承ください。	
⑥ ⑤の受付	⑤について、ご希望の方（代理人可）は下記の相談窓口にご連絡ください。	
	相談窓口	県立広島病院 消化器・乳腺外科 職名 部長 氏名 尾崎慎治 TEL：082-254-1818（平日 8:30～17:15）
研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できますので、問い合わせ先にご連絡ください。		